

週刊
事実報道2021年
6月3日(木)
312号発行会社
株式会社 知設計室
〒532-0011
大阪市淀川区西中島4-3-2
電話 (06) 6390-3113

ワクチン死 コロナ以上

866万回接種で
85人死亡の意味

国民全員が2回接種すれば死者は約2500人にもなるといふ、ワクチン史上類を見ない超高死亡率の新型コロナウイルス。大手新聞とテレビは当初、厚労省による死亡報告を全くと言っていいほど伝えず、今も追求する報道はない。

と、コロナ感染の年間死亡者数よりも多くなる危険性があるからだ。

新型コロナウイルス接種している。これをたった85人と捉えているのは大きな間違いだ。この数字を元に厚労省の発表によると、ワクチン接種が始まって5月21日まで、85人が死亡

した時点で、ワクチン接種回数866万回。つまり2億5100万回のワクチンが接種されることになる。

一方、85人が死亡した時点で、ワクチン接種回数は866万回。つまり2億5100万回の接種が

終わった時点で、85人の約29倍(2億5100万÷866万、約2500人)の死亡者が出る恐れがあるのだ。

ワクチン接種で約2500人もの死亡者が出るというのは明らかに異常だ。



ワクチンを打ちに行く人は接種後85人も人が亡くなっている事実を知っているのだろうか？



自衛隊大規模接種センター(写真は大阪会場)。訪れる人は少ないが……

昨年2020年の

コロナ死亡者数は約3500人だが、この中には「恐らくコロナが死因かもしれない」という、あやふやな死亡例も含まれる。逆に、ワクチンで死亡した85人の



インフルワクチンの120倍の死亡率

中には、その遺族が病院や医師に掛け合

つて国へ報告してほ

しいと訴えてようや

く実現したケースも

あるという。これは

実際の国に上がった

てくるワクチン死亡

者数よりもずっと多

くの人が死んでいる

可能性があることを

示している。

そういう点を精査

していけば、純粹け

に「コロナで死んだ

人の数は3500人

よりも少なく、実

はワクチンで死亡

したのは2500人

より多くなる。つま

り、ワクチン接種死

は、感染を上回っ

ている可能性がある

のだ。

それでもワクチン

を受けた方が安全な

可能性があることを

示している。

そういう点を精査

していけば、純粹け

に「コロナで死んだ

人の数は3500人

よりも少なく、実

の死は……」という

考えの人には、イン

フルエンザワクチン

接種の死亡率を教え

よう。その割合は、

100万回当たり約

0・08人だ(100

万回接種で0・08人

が死亡する)。一方、

が死亡するインフル

に対して、コロナ死

亡者は半分以下の年

月7日までに計39人

が亡くなっています

が、それも週刊現代

のスクープ。一部の

が死亡するインフル

の女性セブンが報じ

たことで明らかにな

りました。さらに5

月7日までに計39人

が亡くなっています

が、それも週刊現代

のスクープ。一部の

が死亡するインフル

の女性セブンが報じ

たことで明らかにな

りました。さらに5

月7日までに計39人

が亡くなっています

が、それも週刊現代

のスクープ。一部の

若い人も重症化 ほぼ全員に副作用

警戒すべきは数代にわたる健康な人が急死しているのだ。死亡しているのか、副作

用率はほぼ100%。半ば強制的に接種させられる医療

機関では、副作用が「厚労省から『因果関係は分からない』

と言われているか」と言われているか。『受けた』と

前に渡されるとい

う。

もうコロナワクチ

ンは「殺人ワクチン」と言っているのだろ

う。なのにマスコミは無視、それどころ

亡報告を公表してい

る。もちろんマスコ

ミ各社の記者たちに

も資料とともにレク

チャーはされている

る。ところが彼ら大

手マスコミはそれを

報じなかった。

「19人の件は女性誌

の女性セブンが報じ

たことで明らかにな

りました。さらに5

月7日までに計39人

が亡くなっています

が、それも週刊現代

のスクープ。一部の

が死亡するインフル

の女性セブンが報じ

たことで明らかにな

りました。さらに5

月7日までに計39人

が亡くなっています

マスクは危ない!

「どうする?」

コロナ禍以前から明らかになっている事実だが、マスク自体にウイルス感染を予防する科学的根拠はない。ウイルス0.02~0.1μm(マイクロメートル)に対し、不織布マスクの網目は5μm、マスクの穴の大きさはウイルスの約50倍だ。さらに、布製マスクの網目は10μm以上。感染を防ぐことができるマスクとは、呼吸が妨げられ窒息死してしまうようなものになる。

まうだ。
加えて、マスクは息苦しさがあるため、鼻を使わずに口から息を吸ったり吐いたりしがちだ。

口はもとより消化器官であって呼吸器ではないこともあり、口呼吸と鼻呼吸も多くある。

15%を切ると、脈拍が増え頭痛、吐き気がする。

マスクは有害物質まみれ

「不織布マスクから有害物質が発見された」という調査結果も出てきた。

例えば、世界で最も流通している中国製のマスクについて、独アウクスフルの検査会社「モタ・テスト・インク・サール」のマネージャー・ディレクタ

「兼共同創設者であるディーター・セドラル博士は「ホルムアルデヒド、PFC(有機フッ素化合物)およびその他の化学物質が含まれている」と報告している。他にも、環境保護団体グリーンピースの体グリーンピースの化学部門の創設者にして元ディレクター、世界的に有名な環境基準「Cradle to Cradle」(ゆりかごからゆりかごまで)の創設に携わったマ

と実験では、発がん性や発達障害を引き起こすことが判明している。

その他にも、接着剤や漂白剤、人工香料や染料などが含まれていることも多い。

マスクは有害物質まみれ。猛毒物質のイソシアネートを原料とするポリウレタン製マスクも、洗剤や柔軟剤による有害物質が付着した布マスクも同様だ。

「マスク着用は仕方ない」という諦めを前提にした「鼻呼吸を意識」「身振り手振りを加えてコミュニケーション」などの対策、論議では、社会にまん延している「マスクなしに生きている」という読者からの連絡が相次いだ。学校に直訴したり、友人等にも伝えたりするため、探索し、追求し、いろいろな資料を収集し、その一つに事実報道を導いてくれているのだという。実際に、週刊事実報道だけでなく、公的な研究データなど、私たちがこのように思っている追求した先にあるのではないだろうか。

現実直視から事実追求 そして「どうする?」

「マスク着用は仕方ない」という諦めを前提にした「鼻呼吸を意識」「身振り手振りを加えてコミュニケーション」などの対策、論議では、社会にまん延している「マスクなしに生きている」という読者からの連絡が相次いだ。学校に直訴したり、友人等にも伝えたりするため、探索し、追求し、いろいろな資料を収集し、その一つに事実報道を導いてくれているのだという。実際に、週刊事実報道だけでなく、公的な研究データなど、私たちがこのように思っている追求した先にあるのではないだろうか。

「自分が知りたい」ではなく、「誰かに伝えたい、発信したい」誰かのために何かしたい、動きたい、守りたい」という流れが、今、確かにある。

みんなを守るためには、マスクや国家が垂れ流す欺瞞情報に惑わされず、さまざまな現象事実を俯瞰的、総合的に捉え、分析する必要がある。そういった、論理整合性による【現実直視】↓【事実追求】↓【どうする?】の思考での追求が絶対不可欠となる。マスク着用が不要になる生活は、私たちがこのように思っている追求した先にあるのではないだろうか。

●マスクで酸欠状態

現在、酸欠状態が引き起こす頭痛・目まい・耳鳴り・肩こりや視力低下・集中力低下という症状を訴える人が増えている。その原因がマスクの常時着用にあることは明らかだ。

人は、約21%の酸素濃度の空気を吸い込み、肺で酸素を体内に取り込んで約

15%の酸素濃度の空気を吐き出すといわれている。一般的には約16%の酸素濃度の酸欠状態の自覚症状が現れるといわれている。マスクを着用して呼吸すると、新鮮な空気でなく己の吐いた息を多く吸うことになり、軽い酸欠状態になって減少し、酸素濃度が

「有機フッ素化合物」この物質は、「非危険な環境汚染物質」としてすでに認識されており、人間の血液中に蓄積し続けるであろうことが明らかにされている。

そして、この有機フッ素化合物を結合させるために使用されているのが、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒドなど、マウスによる投

「マスク着用は仕方ない」という諦めを前提にした「鼻呼吸を意識」「身振り手振りを加えてコミュニケーション」などの対策、論議では、社会にまん延している「マスクなしに生きている」という読者からの連絡が相次いだ。学校に直訴したり、友人等にも伝えたりするため、探索し、追求し、いろいろな資料を収集し、その一つに事実報道を導いてくれているのだという。実際に、週刊事実報道だけでなく、公的な研究データなど、私たちがこのように思っている追求した先にあるのではないだろうか。

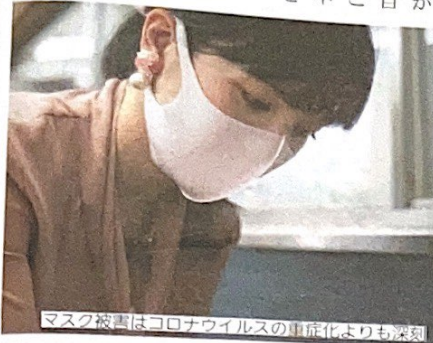
「自分が知りたい」ではなく、「誰かに伝えたい、発信したい」誰かのために何かしたい、動きたい、守りたい」という流れが、今、確かにある。

みんなを守るためには、マスクや国家が垂れ流す欺瞞情報に惑わされず、さまざまな現象事実を俯瞰的、総合的に捉え、分析する必要がある。そういった、論理整合性による【現実直視】↓【事実追求】↓【どうする?】の思考での追求が絶対不可欠となる。マスク着用が不要になる生活は、私たちがこのように思っている追求した先にあるのではないだろうか。

「自分が知りたい」ではなく、「誰かに伝えたい、発信したい」誰かのために何かしたい、動きたい、守りたい」という流れが、今、確かにある。

みんなを守るためには、マスクや国家が垂れ流す欺瞞情報に惑わされず、さまざまな現象事実を俯瞰的、総合的に捉え、分析する必要がある。そういった、論理整合性による【現実直視】↓【事実追求】↓【どうする?】の思考での追求が絶対不可欠となる。マスク着用が不要になる生活は、私たちがこのように思っている追求した先にあるのではないだろうか。

現在、酸欠状態が引き起こす頭痛・目まい・耳鳴り・肩こりや視力低下・集中力低下という症状を訴える人が増えている。その原因がマスクの常時着用にあることは明らかだ。



マスク被覆はコロナウイルスの重症化よりも深刻

「有機フッ素化合物」この物質は、「非危険な環境汚染物質」としてすでに認識されており、人間の血液中に蓄積し続けるであろうことが明らかにされている。

そして、この有機フッ素化合物を結合させるために使用されているのが、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒドなど、マウスによる投

「マスク着用は仕方ない」という諦めを前提にした「鼻呼吸を意識」「身振り手振りを加えてコミュニケーション」などの対策、論議では、社会にまん延している「マスクなしに生きている」という読者からの連絡が相次いだ。学校に直訴したり、友人等にも伝えたりするため、探索し、追求し、いろいろな資料を収集し、その一つに事実報道を導いてくれているのだという。実際に、週刊事実報道だけでなく、公的な研究データなど、私たちがこのように思っている追求した先にあるのではないだろうか。

「自分が知りたい」ではなく、「誰かに伝えたい、発信したい」誰かのために何かしたい、動きたい、守りたい」という流れが、今、確かにある。

みんなを守るためには、マスクや国家が垂れ流す欺瞞情報に惑わされず、さまざまな現象事実を俯瞰的、総合的に捉え、分析する必要がある。そういった、論理整合性による【現実直視】↓【事実追求】↓【どうする?】の思考での追求が絶対不可欠となる。マスク着用が不要になる生活は、私たちがこのように思っている追求した先にあるのではないだろうか。

「自分が知りたい」ではなく、「誰かに伝えたい、発信したい」誰かのために何かしたい、動きたい、守りたい」という流れが、今、確かにある。

みんなを守るためには、マスクや国家が垂れ流す欺瞞情報に惑わされず、さまざまな現象事実を俯瞰的、総合的に捉え、分析する必要がある。そういった、論理整合性による【現実直視】↓【事実追求】↓【どうする?】の思考での追求が絶対不可欠となる。マスク着用が不要になる生活は、私たちがこのように思っている追求した先にあるのではないだろうか。

「自分が知りたい」ではなく、「誰かに伝えたい、発信したい」誰かのために何かしたい、動きたい、守りたい」という流れが、今、確かにある。

コロナとワクチン

その正体の解明を

マスコミは「コロナの恐怖とワクチンの必要性をうたい続け、市民の不安を増長させ続けている。市民は不安が先行してワクチンを歓迎する空気がさえある。今一度、冷静にコロナとは何か、ワクチンの正体は何か、事実を押さえた上で判断してほしい。」

コロナ騒動が始まった昨年2月頃から、非常に強い感染力を持つウイルスである。マスコミ報道からは肺炎など呼吸器系の疾患という印象が強く指摘されている。しかしインフル

エンザの平均推定感染者数が年間約100万人、関連死者は健康機関がコロナ患者の検死を禁止しているため、表の症状ではそう見えるが、そのルールに背き、

「トゲゲ」(スパイクタンパク質)が血管の細胞を傷つけ血栓を作るという研究結果を発表している。コロナの発症はこのトゲゲが力カキを握っている。

「トゲゲ」(スパイクタンパク質)が血管の細胞を傷つけ血栓を作るという研究結果を発表している。コロナの発症はこのトゲゲが力カキを握っている。

「トゲゲ」(スパイクタンパク質)が血管の細胞を傷つけ血栓を作るという研究結果を発表している。コロナの発症はこのトゲゲが力カキを握っている。

「トゲゲ」(スパイクタンパク質)が血管の細胞を傷つけ血栓を作るという研究結果を発表している。コロナの発症はこのトゲゲが力カキを握っている。

「トゲゲ」(スパイクタンパク質)が血管の細胞を傷つけ血栓を作るという研究結果を発表している。コロナの発症はこのトゲゲが力カキを握っている。

「トゲゲ」(スパイクタンパク質)が血管の細胞を傷つけ血栓を作るという研究結果を発表している。コロナの発症はこのトゲゲが力カキを握っている。

「トゲゲ」(スパイクタンパク質)が血管の細胞を傷つけ血栓を作るという研究結果を発表している。コロナの発症はこのトゲゲが力カキを握っている。

「トゲゲ」(スパイクタンパク質)が血管の細胞を傷つけ血栓を作るという研究結果を発表している。コロナの発症はこのトゲゲが力カキを握っている。

「トゲゲ」(スパイクタンパク質)が血管の細胞を傷つけ血栓を作るという研究結果を発表している。コロナの発症はこのトゲゲが力カキを握っている。



産され続け、それに對する抗体が作られ続ける状態とは、明らかに免疫異常の状態である。「関節リウマチ」「膠原病」など、免疫異常が引き起こす難病の多くは、治療法も確立していない。

また、このワクチンは、その表面が界面活性剤でコーティングされているが、界面活性剤が重大なアレルギーを起こす可能性は以前から指摘されている。

イタリアやロシアでコロナの死亡者を調査したところ、体内の至るところに血栓ができていた。つまり、コロナは呼吸器疾患ではなく血管障害であり、体中に発生する血栓が脳や心臓や肺に酸欠状態をもたらし、最悪の場合、死に至るのだ。

トゲゲは、5Gのような強力な電磁波に曝されると、血栓を作る作用が強まり、発症が一気に進んだり、症状が急変したりする可能性があるという見方がある。厳密な因果関係はまだ解明中だが、ワシントン州立大学名誉教授マーティン・ポール博士は、5G放射線によって体の免疫系が弱体化し、ウイルスの複製を増加させる可能性があるという。5Gの電磁波がコロナウイルスの感

「トゲゲ」(スパイクタンパク質)が血管の細胞を傷つけ血栓を作るという研究結果を発表している。コロナの発症はこのトゲゲが力カキを握っている。

「トゲゲ」(スパイクタンパク質)が血管の細胞を傷つけ血栓を作るという研究結果を発表している。コロナの発症はこのトゲゲが力カキを握っている。

「トゲゲ」(スパイクタンパク質)が血管の細胞を傷つけ血栓を作るという研究結果を発表している。コロナの発症はこのトゲゲが力カキを握っている。

「トゲゲ」(スパイクタンパク質)が血管の細胞を傷つけ血栓を作るという研究結果を発表している。コロナの発症はこのトゲゲが力カキを握っている。

「トゲゲ」(スパイクタンパク質)が血管の細胞を傷つけ血栓を作るという研究結果を発表している。コロナの発症はこのトゲゲが力カキを握っている。

「トゲゲ」(スパイクタンパク質)が血管の細胞を傷つけ血栓を作るという研究結果を発表している。コロナの発症はこのトゲゲが力カキを握っている。

「トゲゲ」(スパイクタンパク質)が血管の細胞を傷つけ血栓を作るという研究結果を発表している。コロナの発症はこのトゲゲが力カキを握っている。

「トゲゲ」(スパイクタンパク質)が血管の細胞を傷つけ血栓を作るという研究結果を発表している。コロナの発症はこのトゲゲが力カキを握っている。

「トゲゲ」(スパイクタンパク質)が血管の細胞を傷つけ血栓を作るという研究結果を発表している。コロナの発症はこのトゲゲが力カキを握っている。

「トゲゲ」(スパイクタンパク質)が血管の細胞を傷つけ血栓を作るという研究結果を発表している。コロナの発症はこのトゲゲが力カキを握っている。



「トゲゲ」(スパイクタンパク質)が血管の細胞を傷つけ血栓を作るという研究結果を発表している。コロナの発症はこのトゲゲが力カキを握っている。

「トゲゲ」(スパイクタンパク質)が血管の細胞を傷つけ血栓を作るという研究結果を発表している。コロナの発症はこのトゲゲが力カキを握っている。

「トゲゲ」(スパイクタンパク質)が血管の細胞を傷つけ血栓を作るという研究結果を発表している。コロナの発症はこのトゲゲが力カキを握っている。

「トゲゲ」(スパイクタンパク質)が血管の細胞を傷つけ血栓を作るという研究結果を発表している。コロナの発症はこのトゲゲが力カキを握っている。

思考停止、追求しない者は命を奪われる時代

「トゲゲ」(スパイクタンパク質)が血管の細胞を傷つけ血栓を作るという研究結果を発表している。コロナの発症はこのトゲゲが力カキを握っている。

「トゲゲ」(スパイクタンパク質)が血管の細胞を傷つけ血栓を作るという研究結果を発表している。コロナの発症はこのトゲゲが力カキを握っている。

打つのだろうか。